**ガクチカ**

【競技ダンス】

①私は大学で４年間、競技ダンス部に所属していました。競技ダンスとは、男女二人一組で美しさを競う競技であり、審査員の評価によって順位が決まります。12枠まで勝ち残れば順位が付きます。私は競技ダンスの全国の舞台で順位が付くところまで勝ち進むことを目標に、４年間部活を続けました。部活では、私は3年生の秋ごろまで試合にはずっと勝ち残れず、順位は付きませんでした。４年生に進級するころには、ダンスのパートナーが就活やバイトを理由にして部活を辞めたいと言ってきて、一人で練習することが多くなりました。勝てないことと、パートナーが辞めて試合に出られなくなるかもしれないことで、私は辛い思いをしていましたが、勝ちたいという目標を諦めず、パートナーを説得しました。パートナーが辞めたくなくなるような練習をしたり、そのような言葉もかけたりしました。試合に勝つために、パートナーを奮い立たせたのです。パートナーと１か月ほど話し合って、なんとかパートナーは最後まで本気で続けてみる、と言ってくれました。そのおかげで、4年の最後の冬の大会では準決勝、つまり順位が付くところまで初めてたどり着くことが出来ました。物事をやり遂げることは大変で、これからも辛いことはたくさんあると思いますが、この経験からどんなに難しいことでも立ち向かい、諦めずに努力を継続してやり遂げる力が付きました。（578）

楽天

大学の4年間、競技ダンスの部活動に最も力を入れた。部活では技局という練習会の運営を行う役職と、パ局という新歓活動などのイベント開催企画を行う役職のリーダーを兼任していた。練習会自体は週に1回だったが、早く実力をつけたくて私は週5回ダンスの練習に取り組んだ。競技ダンスは男女二人一組で美しさを競う競技であり、審査員の評価によって12位まで順位が付く。私は競技ダンスの全国大会の12枠に勝ち進むことを目標に、4年間部活を続けた。3年生の秋ごろまで試合にはずっと勝ち残れず順位は付かなかった。4年生に進級するころには、ダンスのパートナーが就活やバイトを理由にして部活を辞めたいと言ってきて、一人で練習することが多くなった。勝てないこととパートナーが辞めて試合に出られなくなるかもしれないことで、私は辛くて不安になったが、勝ちたいという目標を諦めずにパートナーを説得した。パートナーが辞めたくなくなるような練習をしたり、ダンスを最後まで続けたい旨を伝えたりした。試合に勝つためのパートナーを奮い立たせる努力の結果、1か月ほど話し合いパートナーが最後まで本気で続ける決意をしてくれた。そのおかげで、4年の最後の冬の大会では準決勝、順位が付くステージまで初めてたどり着くことができた。この経験から、どんなに難しい目標でも立ち向かい諦めずに努力を継続しやり遂げられる力が付いた。（582）

②私は大学で競技ダンス部に所属していました。競技ダンスは男女二人一組で美しさを競う競技で、審査員の評価で順位が決まります。私は全国で勝つために４年間部活を続けました。私は3年の秋まで試合に勝ち残れませんでした。４年に進級する頃にはダンスパートナーが就活やバイトを理由にして部活を辞めたいと言ってきて、一人で練習することが多くなりました。勝てないこととパートナーが辞めて試合に出られなくなるかもしれないことで、私は辛い思いをしましたが、勝ちたいという目標を諦めずパートナーが辞めたくなくなるような練習をしたり、そのような言葉もかけたりしました。そのおかげか、パートナーと話し合ってパートナーが最後まで本気で続けると決意してくれたので、4年の最後の全国大会では準決勝まで初めて勝ち進むことができました。物事をやり遂げることは大変ですが、この経験からどんなに難しいことでも諦めずにやり遂げる力が付きました。(399)

大学の４年間、競技ダンス部の活動に最も力を入れて取り組んだ。私は全国大会に出場して決勝のフロアで踊ることを目標に、部活を続けた。難しかった点は、パートナーとのやる気を合わせることである。3年の秋までは試合で勝ち残れず、４年になる頃にはパートナーが就活やバイトを理由にして部活を辞めたいと言ってきた。パートナーが辞めて試合に出られなくなるかもしれないという不安があったが、勝ちたいという目標は諦めなかった。工夫したのは、パートナーとの接し方である。悩みに寄り添い、パートナーが辞めたくなくなるような練習（踊りそのものが楽しいと思えるように、あえて意見を言わないなど）をすることで、話し合って最後まで部活を続けると決意してくれた。4年の最後の全国大会ではそのパートナーと準決勝まで初めて勝ち進むことができ、この経験からどんなに難しいことでも諦めずにやり遂げる力が付いた。（３８３）

③競技ダンス部の活動に一番力を入れて取り組んだ。私は全国大会で勝つために大学の４年間部活を続けたが、3年の秋までは試合で勝ち残れず、４年になる頃にはパートナーが就活やバイトを理由にして部活を辞めたいと言ってきた。パートナーが辞めて試合に出られなくなるかもしれないという不安があったが、勝ちたいという目標は諦めなかった。パートナーの悩みに寄り添い、パートナーが辞めたくなくなるような練習をすることで、話し合って最後まで本気で続けると決意してくれた。4年の最後の全国大会ではそのパートナーと準決勝まで初めて勝ち進むことができ、この経験からどんなに難しいことでも諦めずにやり遂げる力が付いた。（292）

④勝負の世界である競技ダンス部活動に力を入れました。運動神経の良い人が沢山いて、競技で負けることは多々ありました。辛かったですが4年間部活をやり通しました。物事を楽観的に捉え、どんなに難しいことでも諦めずやり遂げる力が付きました。（125）

⑤体育祭のクラス団長に立候補し、生徒を統率・やる気にさせるような言動をしました。司令塔として要望を人に伝える難しさを知り、「この人に協力したい」と思ってもらう伝え方ができるようになりました。

★男女二人一組で踊る、大学時代の競技ダンス部の活動です。

全国大会で準決勝である12枠に入ることを目標に活動しました。

二人の時間が合わせやすい昼に、週5で練習するようにしていました。

4年生進級時まで試合に勝ち残れず目標を達成できるのかという不安や、パートナーが就活を理由に部活をやめようとした時があり最後の全国大会に出られないかもしれないという不安があった。

最後の大会で初めて順位の付く準決勝まで勝ち進めた。

これから壁に直面した時に、あきらめずにやり切る力が付いた。

【ネットビジネス】

大学でのネットビジネスの活動である。その内容は、インスタグラムで自分を売り込み、集客するという内容だ。始めた理由は、電車で毎日通勤したり残業で十分な休暇が取られなかったり、仕事に縛られる生活が嫌だったからである。自分自身が社長となってネット集客を集客したメンバーに教えたり、全国各地のビジネスセミナーに参加したりした。自分の理想通りに収益化はできなかったが、自分に自信がつき、自分のことを人に伝えるのが上手になった。また、マーケティングやマネジメントを学ぶ良い機会になった。

**自己PR**

【大和】

今私が力を入れて取り組んでいることは、結婚式の配膳や式進行の補助スタッフのアルバイトです。大学生活の4年間、私は社会に出て仕事をすることがどのようなものかあまり分かっておらず、生活費を稼ぐためだけにアルバイトをしていたので、偉い人の言うことを聞き、指示通りに動けばお金をもらえると考えていました。仕事のイメージもそうだったのです。しかし、結婚式のアルバイトの経験から考え方が変わりました。私の結婚式のアルバイトでは、お手洗いに人材と人財の違いという張り紙があって、その張り紙には、「人材は会社内で言われたことを成し遂げる人で、人財は言われたことを成し遂げ、かつ自ら考えて行動できる人」という風に書いてありました。実際、その結婚式のアルバイトリーダーの社員の方はあまり指示を出さず、アルバイトに考えさせるように行動していました。そのおかげで、私も初めは失敗が怖くて指示待ちをすることで楽に稼げると思っていた考え方が変わり、結婚式はどうしたらうまく行くか、どのようにお客様に対応すれば喜んでもらえるか、自分で考えて行動するようになりました。失敗はするかもしれませんが、その方が将来的に成長できると気付きました。もちろん失敗するより成功した方がいいですが、指示待ち人間になるのは頭を使っておらず、会社にとってより良い人財になる機会を取り損ねてしまうと、今では考えます。大学院に進んだ今も、研究が忙しくてもそのアルバイトには出来るだけ入るようにしています。（624文字）

【競技ダンス】

私の長所は前向き・物事に楽観的で、深く考えすぎないところだと思っています。大学では競技ダンス部に所属していて、勝負の世界に身を置いていました。私よりも運動神経の良い人がたくさんいる世界で、競技で負けることも沢山ありました。すごく辛い時もありましたが、それでも4年間部活をやり遂げられたのは私の前向きな考え方のおかげだと思います。物事をやり遂げることは大変で、これからも辛いことはたくさんあると思いますが、どんなに難しいことでも立ち向かって曲がりなりにも継続していける力が私にはあると思います。（246文字）

**企業選びの軸**

・エンジニア

企業選びの軸は二つあります。1つは、育成環境がしっかりしている、言い換えると、成長していく環境が整っていることです。理由として、企業に入り質の良い教育を受けることで自身のエンジニアとしての価値を上げられると考えるからです。自身の価値を上げられると、実践によって成長を実感でき、成長は仕事への大きなやりがいにつながると思います。2つ目は、自分がしたいこと・成し遂げたいことを任せてくれるということです。私自身、新しいことや面白いことに好奇心を感じる性格で、幅広い仕事を経験したいと思っています。仕事していく中で自身のやっていきたいことが変わっても、サポートしてくれる企業に就きたいです。（２９２）

**志望動機**

・楽天

貴社を志望する理由は2つある。まず1つは、貴社の楽天エコシステムに大きな将来性を感じ興味を持ったからだ。貴社のエコシステムのクロスユース企画提案や、楽天アセットによる社会課題解決事業提案を貴社のインターンシップで経験し、貴社は現在のサービスにとどまらず今後も常に進化し続けるグループなのだろうと実感できたので、志望度が大きく高まった。2つ目は、貴社の社風である[GET THINGS DONE(物事を成し遂げる力)]に共感できたからだ。私は会社に入社してから大きな成長をし、社会にとって市場価値の高い人材になりたいと考えている。貴社で働く社員の方々は、仕事の際に困難や大きな壁があっても諦めず、最適な解決策を模索し自分ができる最大限以上のパフォーマンスをしていると感じた。優秀な人が集まる環境で将来性の高い楽天アセットがあれば、自身をより成長させられると強く思うので、貴社を志望する。

上記のカンパニーを選んだ理由は2つある。1つ目は、実際に貴社のフィンテックサービスを使っていて、親しみがあり質の良い仕事ができると思うからである。例えば楽天ぺイの新規事業企画提案であれば、実際に自分が楽天ペイを使う時を想起し1意見としてグループメンバーに伝えることが出来る。自身が使うサービスをより良くするための仕事であれば、そうでない時よりユーザー目線の提案ができ、質の良い業務を行えると考える。2つ目は、IT×金融の仕事にとても魅力を感じるからである。もともとお金関連の知識に強い知的好奇心があり、また、大学6年間の情報系学科と研究室の勉強を活かした仕事がしたかったため、IT企業の金融の仕事に就くことを視野に入れていた。その背景から貴社のフィンテック部門のインターンシップに参加させていただいたが、貴社のフィンテックグループで働くイメージが明確になり、働いてみたいと感じた。